

遮光シート被覆による ナガエツルノゲイトウ駆除の試み

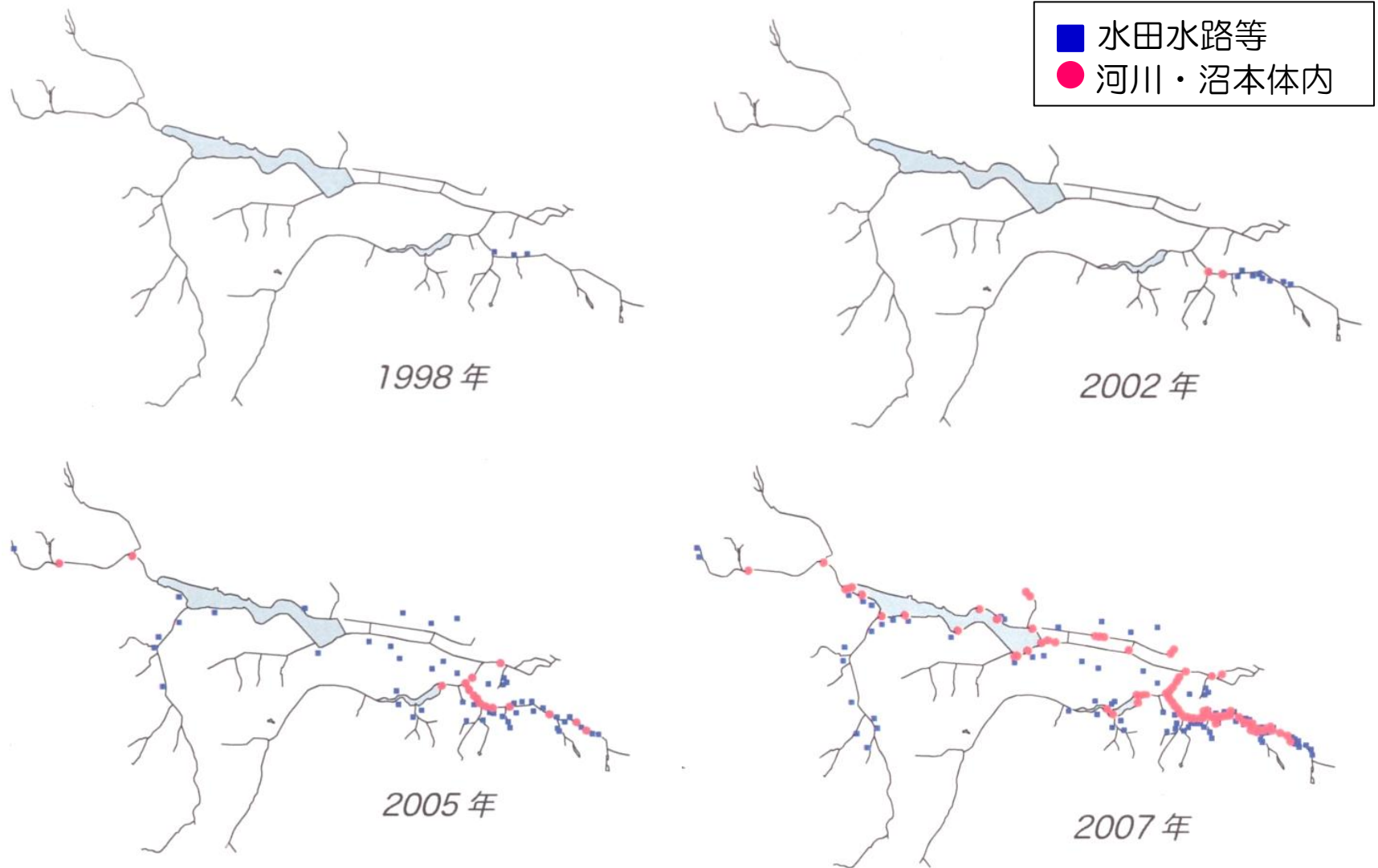
竹中 真里子（手賀沼にマシジミとガシャモクを復活させる会）

八鍬 雅子（美しい手賀沼を愛する市民の連合会）

林 紀男（千葉県立中央博物館）

手賀沼におけるナガエツルノゲイトウの拡大

千葉県立中央博物館による調査から



2012年より「手賀沼流域フォーラム事業」として 美しい手賀沼を愛する市民の連合会が調査を開始



2012年6月ヒシの群落



2012年11月
ナガエツルノゲイトウ
群落の侵入

2013年6月



2014年9月

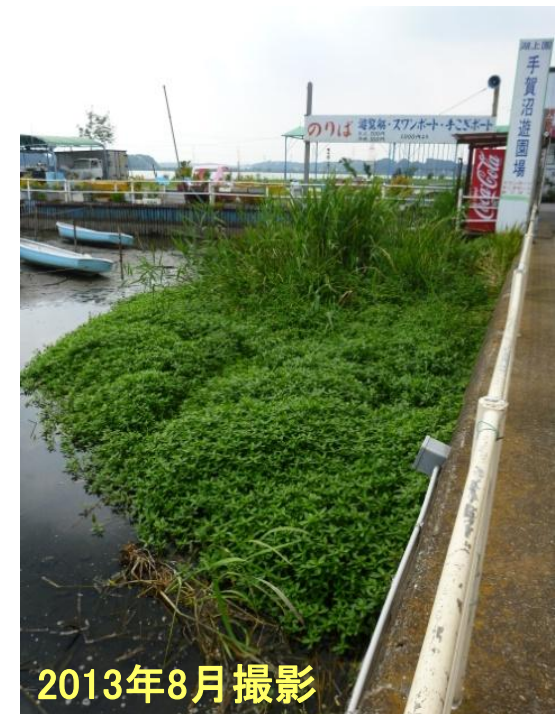
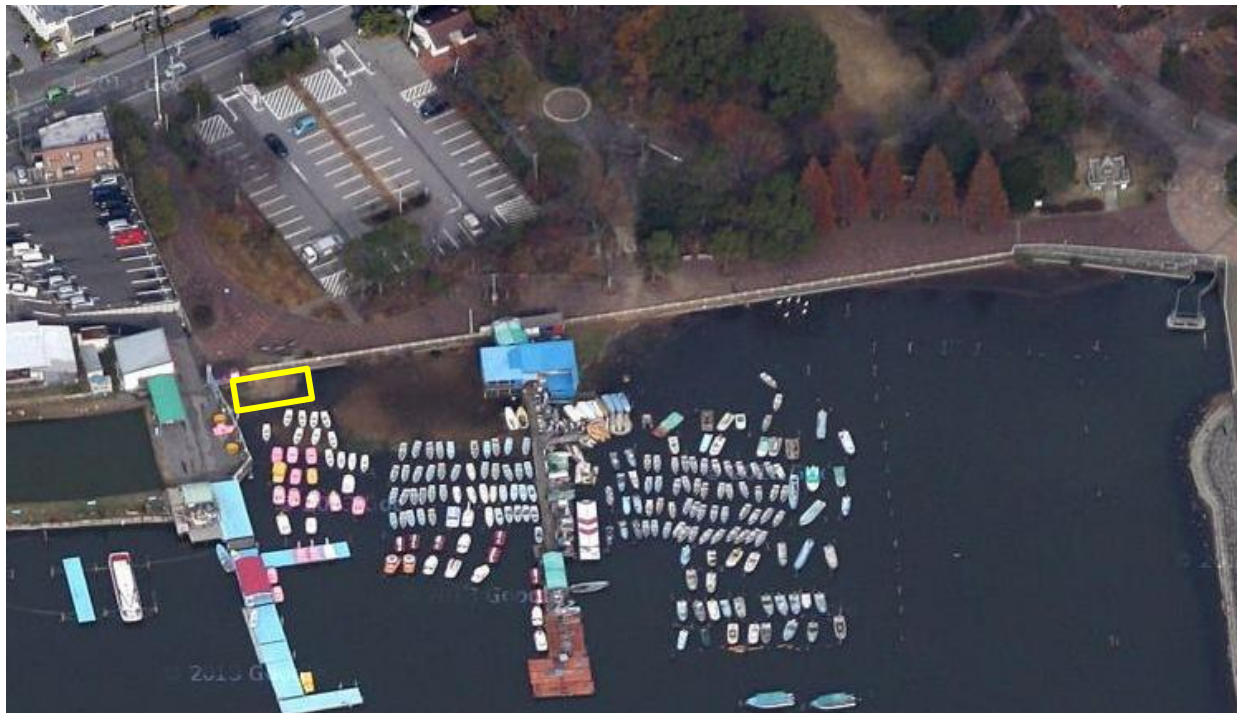
2013年の爆発的な拡大、手賀沼公園のボート屋の被害

大阪府立環境農林水産総合研究所水生生物センター
遮光シートによる駆除実験に成功しているとの情報

遮光シートで2年間被い、完全に枯れ死させる

柏土木事務所、柏市、我孫子市、手賀沼土地改良区と協議

千葉県河川海岸アダプトプログラムに申請、柏土木事務所と協働



2014年3月23日 遮光シートの設置



1. 遮光シート 8m×20m

日本ワイドクロス株式会社製ワイドスクリーン（遮光率95%）

2. 設置作業手順

シートを敷き、シートのハトメ穴の位置に合わせて、シート外側に木杭・鉄筋杭を打ち込む。木杭にはヒートンを打ち込み、ロープでシートのハトメにつなぐ。

遮光土嚢（重さ20kg位）55個をシート上に置き固定した。

遮光シート設置後の経過



2014年3月29日



5月18日



シート上に芽が出た



6月19日

遮光シート設置の効果



2014年8月30日



2013年8月29日

2014年8月30日



シート上に根をマット状に拡げていた



ナガエツルノゲイトウはシート中央部と西側で拡がり、
カヤツリグサ、タゴボウモドキ、アメリカセンダングサなども増えてきた

11月27日 シート上のナガエツルノゲイトウ等除去作業



8月末に水位が下がってから、すさまじい勢いでシート上に拡がったシートに穴を開けないように注意して、作業を行った

11月27日 シート上のナガエツルノゲイトウ等除去作業



ナガエツルノゲイトウの茎や葉などを残さないよう、タモ網で丁寧に拾った

11月27日 シート上のナガエツルノゲイトウ等除去作業



ナガエツルノゲイトウはシートのわずかな隙間や穴を突き抜けて根を出していた



作業前

作業後



2015年1月29日 追加シートを設置



① 既設の8×20mの上に、6×10mのシートを重ねて設置

2015年1月29日 追加シートを設置



② 新たに侵入があったところに4×8mシートを設置

【まとめ】

- ・手賀沼におけるナガエツルノゲイトウの拡大の危機に、市民団体としてできることを考え、啓発としての駆除を実施した。
- ・灌漑期にはシートが水没するため、シートの隙間などから繁茂しても、すぐに対処することができず、シート上で拡がってしまった。
- ・光があたらない箇所では、成長が無く、遮光シートは駆除方法としては有効である。
- ・新たな定着箇所が見つかるなど、拡大の脅威が続いている。供給源である印旛沼流域の対策も含め、行政としての戦略的な取り組みを要望していく。